

算定基礎届総括表の記載例

算定基礎届総括表は、保険者が各事業所の報酬の支払状況や被保険者数などを把握するために提出していただくものです。総括表には、事業所整理記号、事業所番号等がプリントされています。これに必要事項を記入して、算定基礎届とともに提出してください。

「㊦事業の種類(変更の有無)」欄

現在、行っている事業の種類を「事業所業態分類票」を参照して、記入してください。
また、この1年間に事業の種類に変更があった場合は「有」、ない場合は「無」を○で囲んでください。

「㊧本年6月から被保険者になった人」欄

6月以降に被保険者となった人は、資格取得届により翌年8月までの標準報酬月額が定められますので、算定基礎届の対象から除かれます。

「㊨届書に未記載の人」欄

算定基礎届にプリントされていない人で本年5月31日までに被保険者となった人数を記入してください。なお、これらの人は算定基礎届を提出していただく必要があります。

「㊩6月30日までに退職した人」欄

算定基礎届にプリントされている人で、本年6月30日までに退職した人数を記入してください。

「㊪被保険者総数」欄

7月1日現在の被保険者総数を記入してください。

「㊫差引届出者数」欄

算定基礎届の対象となる総人数を記入してください。

「㊬被保険者となっていない人」欄

7月1日現在、賃金・報酬を支払っている人のうち被保険者となっていない人(全国健康保険協会管掌健康保険又は厚生年金保険のいずれにも加入していない人)の人数を記入してください。

「㊭㊮月額変更する予定者」欄

㊭又は㊮欄に記入してある人数分の氏名・被保険者整理番号をそれぞれ記入してください。(裏面にも記入欄があります。)

【月額変更が行われるとき】

報酬が大幅に変わった場合は、随時、標準報酬月額が改定されますが、次の三つのすべてに該当している人については、月額変更(随時改定)が行われます。
 (1)昇(降)給などで固定的賃金に変動があったとき
 (2)変動月以後引き続き3か月の間に支払われた報酬の平均月額を標準報酬月額にあてはめ、現在の標準報酬月額との間に2等級以上の差が生じたとき
 (3)3か月とも報酬の支払基礎日数が17日以上あるとき

届書コード 229	届書 健康保険 厚生年金保険	被保険者報酬月額算定基礎届 総括表	事務センター長 副事務センター長 グループ長 担当者
⑦事業所整理記号 01-000	⑧事業所番号 0000	⑩適用年度 *年*年*月*日	⑪算定完了年月日 *年*月*日
⑫事業の種類(変更の有無) 機械器具製造業 13 (有・無)	⑬5月19日現在の被保険者数 男 36人 女 24人 計 60人	⑭7月1日現在の被保険者総数 (㊫+㊬+㊭+㊮)	⑮差引届出者数 (㊫-㊬)
⑯7月に月額変更する人 5人	⑰8月に月額変更する人 1人	⑱9月に月額変更する人 1人	⑲7月に月額変更する人 5人
⑳給与の支払日 毎月15日締切 翌月25日支払	㉑昇給月 年1回4月月月月月	㉒変更前の昇給月 04	㉓報酬の種類 左の報酬を届に含めて いる いない
㉔固定的賃金 基本給(月給、日給、時間給など)、家族手当、住宅手当、役付手当、物価手当、通勤手当、その他	㉕非固定的賃金 残業手当、宿日直手当、皆勤手当、生産手当、その他	㉖現物給与 通勤定期券、乗車券など	㉗賞与など 賞与、期末手当、決算手当などの支給月
㉘7月1日現在、賃金・報酬を支払っている人のうち被保険者となっていない人 10人	㉙60歳未満の人 6人	㉚60歳以上の人 6人	㉛合計人数 16人
㉜8月に月額変更する予定者氏名 被保険者整理番号 氏名 20 国民圭子	㉝9月に月額変更する予定者氏名 被保険者整理番号 氏名 28 健康信二	㉞社会保険事務士の氏名 所在地	㉟平成24年7月6日提出
㊱事業所所在地 〒000-000 〇〇市〇〇町〇-〇-〇	㊲事業所名称 株式会社〇〇〇〇	㊳事業主氏名 代表取締役〇〇〇〇	㊴電話 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

記入上の注意
ウ、イ、ア、※印欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊫、㊬欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊭、㊮欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊯欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊰欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊱欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊲欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊳欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。
㊴欄には現在行っている事業について具体的に「機械器具製造業、卸売、小売など」記入してください。

「㊫㊬㊭㊮5月19日現在の被保険者数」欄
年金事務所等で入力処理された5月19日現在の被保険者数であり、算定基礎届にはこれらの人を対象に氏名等がプリントされています。

「㊯7月に月額変更する人」欄
4月に固定的賃金の変動があり、4月・5月・6月に支払われた報酬をもとに算出した標準報酬月額と現在の標準報酬月額との間に2等級以上の差が出る人の人数を記入してください。

「㊰8月に月額変更する人」欄
5月に固定的賃金の変動があり、5月・6月・7月に支払われた報酬をもとに算出した標準報酬月額と現在の標準報酬月額との間に2等級以上の差が出る人が明らかな人の人数を記入してください。この場合、月額変更予定者の氏名を㊱欄に記入します。

「㊱9月に月額変更する人」欄
6月に固定的賃金の変動があり、6月・7月・8月に支払われた報酬をもとに算出した標準報酬月額と現在の標準報酬月額との間に2等級以上の差が出る人が明らかな人の人数を記入してください。この場合、月額変更予定者の氏名を㊲欄に記入します。

「㊲給与の支払日」欄
給与の締切日、支払日を記入し、支払日に変更があった場合は「有」、ない場合は「無」を○で囲んでください。

「㊳昇給月」欄
昇給回数、昇給月を記入し、昇給月に変更があった場合は「有」、ない場合は「無」を○で囲んでください。

「㊴固定的賃金」欄
固定的賃金とは、支給額や支給率が決まっているものをいいます。
〈例〉基本給、役付手当、家族手当、通勤手当、住宅手当など

「㊵非固定的賃金」欄
非固定的賃金とは、支給額等が一定しないものをいいます。
〈例〉残業手当、宿日直手当、皆勤手当など

「㊶現物給与」欄
現物給与の種類等を○で囲んでください。

「㊷賞与など」欄
賞与などの支給回数、支給月を記入し、その支払月に変更があった場合は「有」、ない場合は「無」を○で囲んでください。